



おしりの病気

痔疾患 Q&A

監修

松島病院
大腸肛門病センター

目次

はじめに	2
痔(じ)ってどんな病気	3
痔の種類は?	4
痔核	5
裂肛	7
痔ろう	9
治療と使用されるお薬	11
手術について	12
便通を整え、正しい排便を心がけましょう	13
痔メモ	14

はじめに

痔疾患は、国民病といわれるほど多くの人が悩まされています。成人の3人に1人は痔を持っているといわれています。実際には、自覚症状のない潜在的な痔を持っている人も多く、正確な患者数はわかりません。中には症状があっても、市販薬を使い、自分で処置をしている人もいます。

痔の症状は出血や痛み、ときには発熱を伴います。放置すれば手術が必要になることもあります。

痔について正しい知識を持ち、その進行を予防し適切な治療を行いましょう。

また、出血、痛み、便が出にくいといった症状以外にも、便秘や下痢をくり返すなど、おかしいと感じたら大腸がんなどの他の病気の可能性があるため、医師に相談することをお勧めします。



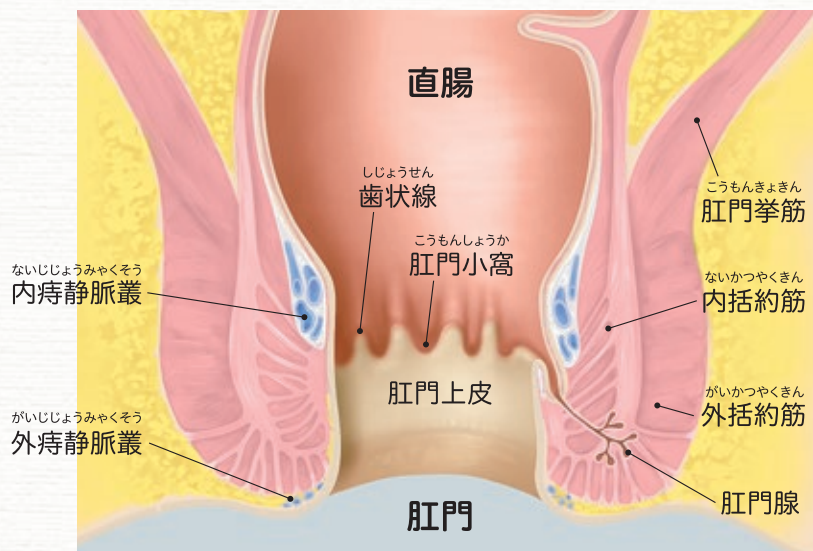
Q 痔(じ)ってどんな病気？



痔とは肛門および肛門周囲の病気の総称です。

その多く(80%位)は良性疾患である「いぼ痔」や「切れ痔」、「痔ろう」などですが、悪性のものや感染する病気もあります。

■ 肛門の構造



肛門・直腸は、内括約筋と外括約筋で囲まれ、常に一定の力で締められています。さらに静脈叢(網目状の血管)やそれを取りかこむ組織や粘膜がクッションをつくり、肛門を閉じる役割をしています。

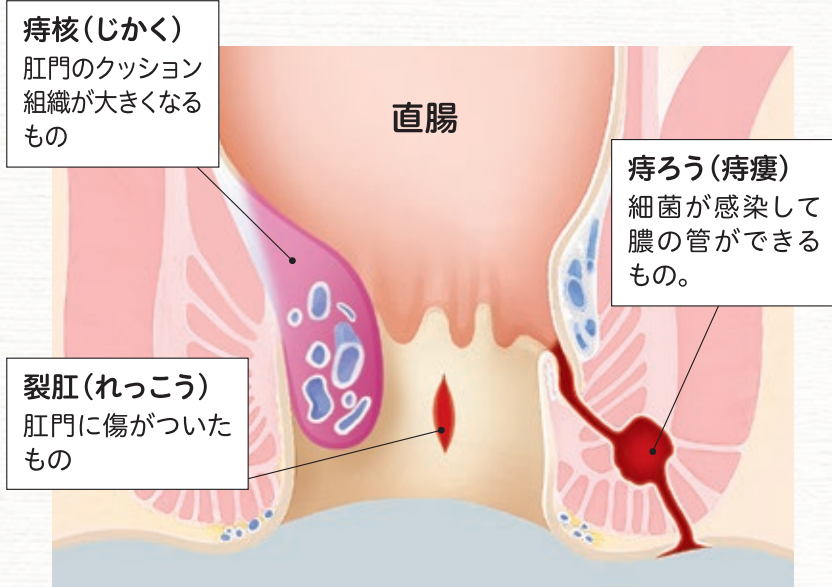
直腸の粘膜と皮膚の境目は歯状線と呼ばれ、そこに肛門小窩というポケット状のくぼみと肛門腺があります。

Q 痔の種類は？



主なものは、「いぼ痔」と言われる内痔核・外痔核・脱肛をふくむ**痔核**、「切れ痔」と言われる**裂肛**、肛門腺が膿んで肛門周囲にトンネルができ皮膚に穴が開く**痔ろう**、の3種類に分けられます。

■ 痔の三大疾患



痔核

男女ともに、痔の中で最も多いのが痔核(いぼ痔)です。

痔核には、歯状線を境に奥のクッション部分がうっ血した「内痔核」と、外側のクッション部分がうっ血した「外痔核」があります。

症状 出血や痛み、肛門外へ内痔核の脱出(脱肛)が見られます。

痔核の進行

内痔核は、大きさと症状により4つの段階に分類します

I度 直腸に痔核ができる

直腸側に小さな痔核ができます。痛みはありませんが、排便時に出血することがあります。

出血の量は多い時は、ポタポタとたれたり、飛び散ったりします。



II度 痔核が脱出する

痔核が大きくなります。排便時に痔核が脱出するようになりますが、排便後は自然に元に戻ります。

多くは痛みを伴いません。



III度 指で押し込むと戻る

痔核がさらに大きくなり、排便時に脱出し自然には戻らなくなります。

排便後に、指で押し込まなくてはなりません。



IV度 常に脱出している

さらに悪化した痔核は、指で押し込んでも元に戻らない、戻ってもすぐに(歩いているだけでも)脱出してしまうようになります。いつもお尻のあたりに不快感があり、下着が汚れることもあります。



Q 軽い内痔核の治療法は？

内痔核は血管がうっ血することで起こります。

軽い場合には、「**血行を良くする**」 **便秘をしない**」ことで改善します。

(Ⅰ度～Ⅱ度)

Q 内痔核がひどくなった場合は？

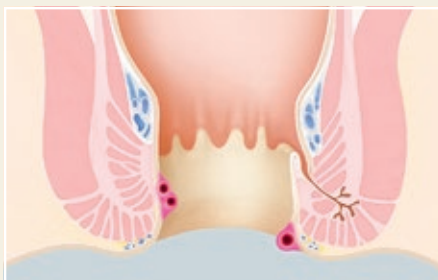
痛みや腫れ、出血などの症状を繰り返し、痔核が大きくなり、力を入れたときや排便時に脱出します。(Ⅲ度～Ⅳ度)

いつも肛門の外に脱出した状態を脱肛といいます。

Ⅲ度、Ⅳ度の内痔核や脱肛では、手術が必要になります。【P.12手術について】

◆急性期の痔核

慢性的な痔核のほかに、突然激しい痛みが起こる急性期の痔核があります。



◆血栓性外痔核

血栓により、肛門周囲に硬いしこりができます。肛門に異常がなかった人でも、肛門に負担がかかった時などに突然起こります。



◆かんとん痔核

痔核に多数の血栓が生じ、肛門外に脱出し戻らなくなります。痔核がⅡ度、Ⅲ度の段階で起こりやすくなります。

痛みが辛いとき

お風呂などであたためるとやわらぎます

裂 肛

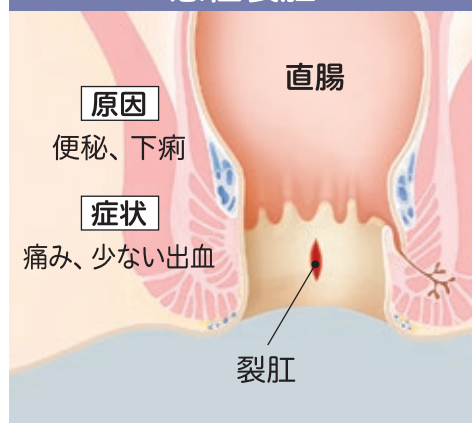
女性に多いと言われるのが裂肛(切れ痔)です。

硬い便や太い便が通過することで、肛門から入ってすぐのところが切れます。この部分は、敏感な神経が通っているため、排便にともなって痛みが起こり、その後も痛みがしばらく続くこともあります。

Q 慢性裂肛とは？

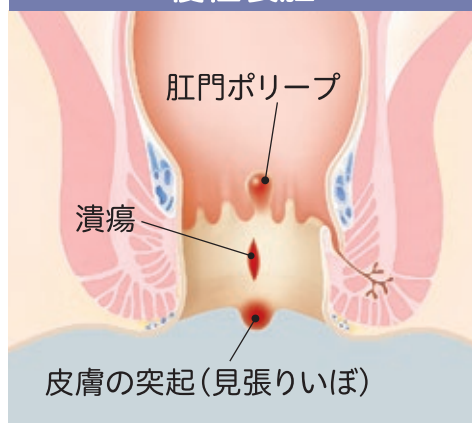
裂肛を繰り返すと慢性裂肛(肛門潰瘍)になります。硬い潰瘍(かいよう)ができることで肛門は次第に狭くなってしまいますので、便が出るときに潰瘍部分が刺激されて、より切れやすくなり便も出にくくなります。痛みのため、便を我慢しがちになります。そのため、さらに便が硬くなるという悪循環を繰り返します。

急性裂肛



便秘や下痢が原因で肛門に傷がつく。出血は少ないが、排便時には非常に痛む。

慢性裂肛



傷が潰瘍となる。潰瘍の上部には肛門ポリープが、下部には皮膚の突起(見張りいぼ)ができることもある。肛門狭窄を起こすこともある。

Q 裂肛の治療は？

生活指導やお薬での治療が中心となります。裂肛の原因の多くは「便秘」です。そのため、「便秘」の改善が一番の治療法であり予防法となります。

急性裂肛(初期の切れ痔)の場合は手術をすることはありません。まずは、“慢性化させない”ことを目的に治療を進めます。合わせて、坐薬を使うことにより約1週間ほどで治ります。

肛門には負担がかかり切れやすい部分があります。短期間に裂肛を繰り返すと、同じ場所に傷ができるため、傷が硬くなって治りにくくなります。(慢性裂肛)

硬い便や太い便だと傷がつきやすいので、肛門に負担のかからない便にすることが大切です。

慢性化して、肛門が狭くなると手術の適応となります。【P.12手術について】

Q 便が硬くならないようにするには？

食物繊維や十分な水分摂取、軽い運動などを心がけ、それでも改善しない場合は、必要に応じて適切な薬(軟便剤・緩下剤)を服用します。

便秘には実にさまざまな原因がありますので、症状に応じて使用のお薬も変わります。一度、病院で相談してみましょう。

痔ろう

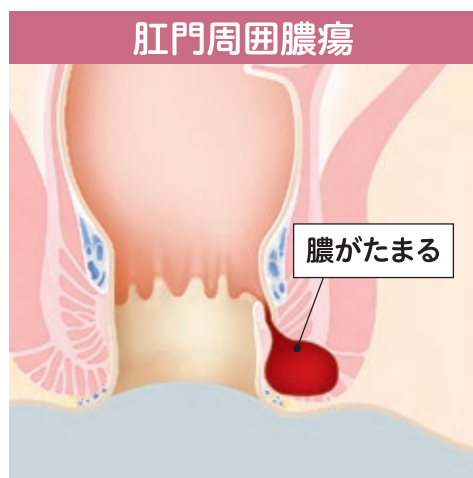
肛門小窩に開口している肛門腺に、便中の細菌が侵入し感染を起こします。

そして、膿(うみ)がたまりその部分が破れて肛門の周囲にトンネルができてしまった状態が痔ろうです。

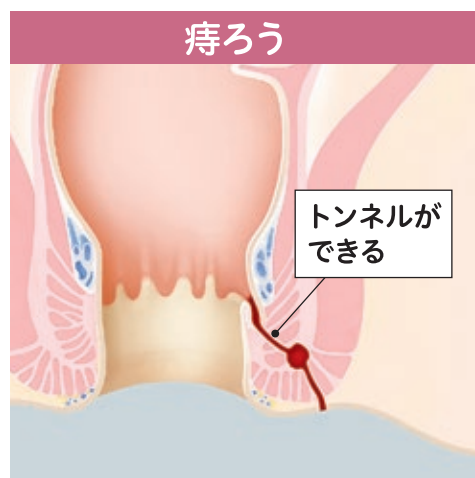
膿がたまり急性の炎症を起こしたものを肛門周囲膿瘍といい、強い痛みや腫れ、ときに発熱を伴います。

膿瘍が破れて膿が出ると痛みや腫れは楽になりますが、皮膚側の穴が塞がりまた膿がたまる、という状態を繰り返します。

■ 肛門周囲膿瘍と痔ろう



下痢などによる細菌感染により、炎症を起こし肛門の周囲に膿がたまります。外からさわっても膿がたまっているのがわかります。



膿のたまりが破れて直腸・肛門と皮膚をつなぐトンネルができます。

Q 肛門周囲膿瘍の経過は？

炎症や腫れは、時間とともにひどくなり深く広がっていきます。

まれに、膿のたまった袋が自然に破れることがあります。膿が出ると、痛みはずっと楽になり腫れも引きます。そのため病気が治ったように感じますが、実は急性炎症が治まったにすぎません。患部に膿がたまって腫れたときは、できるだけ早く医師の診察を受けましょう。膿を出して病気の広がりを防ぎます。

肛門周囲膿瘍の進行にともない、膿の袋に穴があき直腸と外側の皮膚をつなぐトンネルができます。これが一般的な痔ろうで、薬では治りません。

Q 痔ろうの治療法は？

痔ろうは根治手術により治すことができます。【P.12手術について】

まれに直腸と外側の皮膚をつなぐトンネル(痔ろう)が自然にふさがり、そのまま治ることもあります。

また、放置すると締まりが悪くなるなど肛門の機能が低下します。

さらには癌化(痔ろう癌)するものもあります。

治療と使用されるお薬

痔の治療には、食生活や排便などの生活習慣を整えることが大切です。**症状の悪化を防ぐため、便秘や下痢を改善することが基本となります。**

補助的な役割として薬物療法が行われます。薬物療法に使用される薬剤には、外用剤と内服剤があります。

外用剤

軟膏(なんこう)と坐薬(ざやく)があります。痛み・出血・腫れ・かゆみなどの症状の緩和に使用されます。

痔核

内痔核：坐薬、注入軟膏

外痔核：肛門の周囲に直接塗る軟膏と坐薬を使いわけ

裂肛

坐薬、注入軟膏

内服剤

- 軟便剤・緩下剤(便の状態をよくする)
- 抗菌薬(膿がある時)
- 非ステロイド系消炎鎮痛剤(痛みや腫れが強い時)

手術について

痔の治療には、その病態や進行度により手術が必要になるものがあります。

患者さんの状態や日常生活などを考慮し、最適な治療・手術が施されます。

病態		治療法	
痔核	けっさつ 結紮切除術（LE）		痔核を切除し、その傷を閉鎖して肛門を正常に近い状態に復元することができる方法。
	硬化療法（ALTA）		脱出する内痔核に、硫酸アルミニウムカリウム水和物・タンニン酸注射液を適切な部位に注射して痔を固める方法。
裂肛	裂肛 根本手術	皮膚弁移植術（SSG）	肛門潰瘍部を切除し正常な皮膚で傷をおおう方法。
		側方皮下内括約筋切開術（LSIS）	内括約筋の一部を切開し、狭くなった肛門を拡げる方法。合併している肛門ポリープを合わせて切除することもある。
		切除術	裂肛（切れ痔）の部分、肛門ポリープや見張りイボなどをあわせて切除する。
痔ろう	痔ろう 根本手術	ろう管開放術	ろう管（トンネル）を切開・開放し、創部が自然閉鎖するのを待つ。浅い痔ろうに行う方法。
		ろう管切除術	ろう管全体を肛門の周囲からくりぬいて取り除く方法。
		シートン法	ろう管の中にゴムや糸を通し、軽くしめつけながら、少しずつろう管を切り開く方法。
		括約筋温存手術	括約筋の障害を必要最小限にし、肛門機能を温存する方法。（いろいろな術式がある）

毎日の生活の見直しポイント

食生活

- 朝食をしっかり食べる
- 極端に食事量を減らさない
- 水分摂取は十分に
- アルコールをとりすぎない

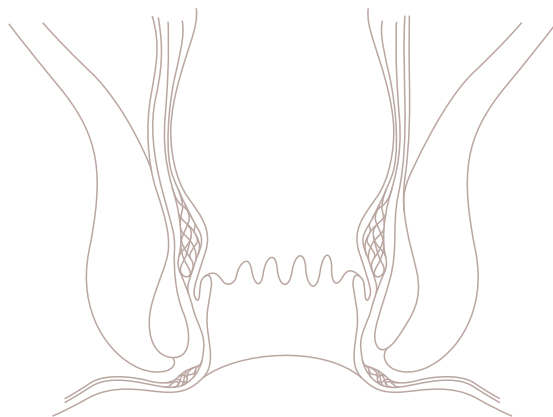
排 便

- 便意を我慢しない
- トイレは短く！3分以内で
- 無理に出そうとしていきまない

運 動

- 毎日適度な運動を！
- 力作業に注意（腹圧をかけない）

痔×毛





施設・病院名